

# Weekly Bulletin 2013-2014



RI会長  
ロンD.バートン



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

## 静岡東ロータリークラブ

会長/高柳正雄 幹事/高田雅司

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
高柳正雄



## 第 2629 回例会

平成 24 年 7 月 25 日 天候 曇り

《司 会》 高田雅司 君

《合 唱》 「手に手つないで」  
「静岡東ロータリー」

《BGM》 「四つのテスト」

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

### 《本日のお祝い》

お誕生日

7月27日 曾根正弘 君  
7月31日 足羽祐治 君

結婚記念日

7月29日 小川英樹 君  
7月30日 大角晋朗 君

### 《会長挨拶要旨》



先週日曜日に参議院議員選挙の結果が出て、衆議院の事情も踏まえれば、向こう3年間の政治の方向性が出たということになるのでしょう。政権党にはポピュリズムに流されずナショナリズムに偏らず、国家と国民にとって最善の選択をしていただくようお願いばかりです。

選挙の間、言葉のもつ力というものを考えていました。それぞれの候補者の皆さんがそれぞれの立場からそれぞれの考えを表明されていたわけですが、主権者である国民に対して、それらが的確な言葉で伝えられていたかどうかということです。

選挙の間、言葉のもつ力というものを考えていました。それぞれの候補者の皆さんがそれぞれの立場からそれぞれの考えを表明されていたわけですが、主権者である国民に対して、それらが的確な言葉で伝えられていたかどうかということです。

「トム・ソーヤの冒険」で有名なアメリカの作家マーク・トウェインによると、言葉には「的確な言葉」と「ほぼ的確な言葉」、そして「そう読めないこともな

い程度の言葉」があるそうで、トウェインは「的確な言葉と、ほぼ的確な言葉の違いは、稲光と蛍の光ほどの違いがある」と言っています。我々凡人は「的確な言葉」と「ほぼ的確な言葉」に大した違いはないと考えがちですが、それは大間違いだと警鐘を鳴らしているわけです。

ですから「そう読めないこともない程度の言葉」では的確な言葉からさらにかけ離れてしまうし、大きくかけ離れてしまった言葉では本当に伝えたいメッセージは届かないということになります。

我々は日々の仕事のなかで、いろいろな人に向かって言葉を発しています。その相手は従業員であったり株主であったり、アナリストであったりしますが、言葉というものは、それを発した後が大切なのだということも実感しています。国民の生活に直結する政治の世界であればなおさらのこと、我々国民は青臭いくらいピュアになって、言葉の重みを追いかけるくらいが丁度よいのだと思います。

### 《会員卓話》

#### 「祝、富士山世界遺産登録」

中田盛之 君



今日は、先日世界遺産に登録された富士山について登録されるにいたった経緯や、世界遺産についてのお話をさせていただきます。

まずは基本的な富士山の話ですが、富士山の標高は3776mです。富士山のように「皆なろう」という語呂合わせがあります。その富士山も日本一高い山ではない時期がありました。それは日本が台湾を統治していた時で、台湾の玉山(新高山)が日本一の山でした。昨年の夏は318,565人が頂上を目指しました。最大だった日には、なんと1万人を超える登山者数が記録されています。登山ルートは4つありますが、その内吉田ルートが圧倒的な人気で6割を占めています。

世界遺産とは、1972年にユネスコ総会で決められた世界遺産条約に基づき、世界遺産リストに登録されている物件です。人類共通のかけがえのない財産として国際的に保護・保全し、未来に残していくことが求められています。日本は1992年に条約に締結し、現在の締結国は190か国です。

現在の世界遺産は今回の富士山登録も含め981件ありますが、その内文化遺産は759件、自然遺産は193件、複合遺産が29件です。複合遺産とは、文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもので、我々にもなじみが深いところでは、ペルーの「マチュ・ピチュ」、オーストラリアの「タスマニア原生地域」等があります。

世界遺産一覧表への記載プロセスは簡潔に言えば①締結国がユネスコへ世界遺産暫定一覧表を提出、②締結国はその中から準備が整ったものをユネスコに推薦(今回日本では、富士山と鎌倉を推薦)、③諮問機関の調査・評価、④世界遺産委員会で世界遺産としての記載の可否を決定、となります。③の諮問機関ですが文化遺産は国際記念物遺跡会議(ICOMOS、イコモス)自然遺産は国際自然保護連合(IUCN)が調査をします。昨年8月29日から9月5日まで、富士山の調査にカナダ人の女性が来られたのを覚えていらっしゃると思います。

そのイコモスの評価基準は、①記載(世界遺産に登録が妥当)、②情報照会(追加情報を求める)、③記載延期(登録は見送るべき)、④不記載(世界遺産にふさわしくない)と4段階に分かれます。今回富士山は①、鎌倉は④と評価され、富士山はそのまま世界遺産委員会で登録が決定されましたが、鎌倉は④の評価だったことでユネスコへの推薦を取り消しました。それは、そのまま世界遺産委員会へ持ち込んでも、恐らく不記載となるであろうと予測され、そうなると原則2度と世界遺産登録にチャレンジできなくなるからです。世界遺産一覧表への記載基準は、「顕著な普遍的価値」、「真实性」、「完全性」、「保護管理体制」があること。そして、「世界遺産条約履行のための作業指針」で示される、(i)~(x)の「登録基準」に合致することです。富士山は(iii)と(vi)に該当すると認められました。

富士山は、初めは自然遺産としての登録を目指していましたが途中で断念し、代わりに「信仰の対象」と「芸術の源泉」をポイントとして、文化遺産として登録を目指してきました。自然遺産登録を断念したのはよく言われているゴミ問題もありますが、自然遺産としての「登録基準」(vii)~(x)のいずれも満たすだけの価値を見いだせなかったからです。

「信仰の対象」の一例として、重要文化財である「絹本著色富士曼荼羅図」に富士山への登拝の様子が描かれています。その図の一番下には駿河湾と、イコモスで除外が言い渡され、世界遺産委員会で逆転して構成資産として認められた「三保の松原」が描かれています。

「芸術の源泉」としては、印象派らにも影響を与えたと言われる、葛飾北斎の「富嶽三十六景」や、歌川広重の「東海道五拾三次」があります。「神奈川沖浪裏」は、ドビュッシーが交響詩「海」の制作にインスピレ

ーションを受けたと言われているものです。富士山は日本のみならず海外にも影響を与えており、このような山は世界に「唯一無二」であることが世界遺産登録の決め手となりました。

よって、登録の名称は、単なる「富士山」から、精神性と芸術的関連性を反映させるため、「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」と変更されました。

富士山はこれからより注目され、観光客も増えるものと思われませんが、世界遺産委員会からは、「資産をひとつの存在として、また文化的景観として管理するための管理システムを実施可能な状態にすること」との勧告を受けており、2016年の世界遺産委員会に保全状況報告書を提出するよう求められています。これらの宿題がクリアされないと世界遺産からの除外もありますので、これからはより富士山を大事にしていきたいと考えます。

### 《第286回くらく会報告》

平成25年7月23日(火)於 静岡倶楽部

出席6名 投句1名

兼題「甚平」「草いきれ」 他当季雑詠

第1席	三才と八十路の甚平夏まつり	渡辺陽夫
第2席	初恋のまつりの宵のくさいきれ	渡辺陽夫
第3席	甚平で揃いて涼む親子かな	丹羽 亨
	父が着た甚平はおり我も父	小山宏之

### 《スマイル報告》

森下登志美 君

先週は私のつたない話をお聞きいただき、ありがとうございます。中田さんお疲れ様でした。

### 《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
7/25	55(54)	38	16	-	-	-
7/18	56(54)	46	8	-	-	-
7/11	56(54)	42	12	5	7	87.04%